

TANGO ACTIVITY PLAN NEWS

活動プランニュース

京都府丹後広域振興局 ☎627-8570 京丹後市峰山町丹波855 ☎0772-62-4300 ☎0772-62-5894
ホームページ http://www.pref.kyoto.jp/tango/ 第8号



天橋立を世界遺産に!

～美しいふるさとを子ども達に残そう～

白砂青松の天橋立は、日本の芸術・文化の源泉、奇観と宗教的憧憬、数々の恵まれたビューポイントなど人が関わってきたことで1千年以上も維持されてきました。人々の宝である天橋立を次の世代へ継承することが今を生きる私たちの責務ではないでしょうか。究極の保全システムである世界遺産登録を目指して、地域住民、関係団体、行政がさまざまな取組を進めています。

天橋立の保全と価値付けの取組

天橋立を未来に継承していく仕組みづくりを検討し、骨格組織を設立することを目的に「天橋立公園継承準備委員会」を立ち上げ、下草刈りや松葉拾い、漂着ゴミの清掃など、地域やボランティアの皆さんと一緒に保全活動を実施。また、天橋立の価値の共有共感を図る取組として、「天橋立まなび舎塾」を開催するなど、地域と協働した取組を進めています。

阿蘇海環境づくり協働会議

できることから阿蘇海環境改善の取組を目指す「阿蘇海環境づくり協働会議」。1月には、与謝野町担い手認定農業者会議で阿蘇海に流れ込む河川からの環境負荷について講演と意見交換を実施。今後、阿蘇海の上流域での環境改善に向けた啓発や取組を実施予定。また海藻類やアサリなどの二枚貝による水質浄化の研究も海洋センターにより進められます。

天橋立周辺地域景観まちづくり計画策定

天橋立およびその周辺地域の景観を生かしたまちづくりを推進するモデル地域と定め、さらなる魅力を高めるため、地元や有識者による検討会で取りまとめた天橋立周辺地域景観まちづくり計画を4月に策定。計画のスタートは、今秋の予定です。

- 天橋立まもり隊(松並木や浜辺の清掃ボランティア)募集中 〇クリーンはしたて1人1坪大作戦 4月13日(日) 〇天橋立を世界遺産にする会」会員募集中
- ☎ 丹後土木事務所管理室 ☎0772-22-3245 ☎ 天橋立を守る会事務局 ☎0772-22-0670 ☎ 同事務局(宮津市企画財政室) ☎0772-22-2121

京都府景観資産に丹後から3地区が第1次登録!

京都府では、地域固有の歴史や文化に恵打ちされた身近な景観について、資産価値を皆で共有し、情報発信により地域の魅力を向上し、景観を生かしたまちづくりを進めることを目的に、景観資産登録制度を創設。景観を守り育てる活動を行う団体などからの提案で、府内8地区のうち丹後から3地区が登録されました。



久美浜湾と牡蠣の養殖景観

風土に根差して営まれてきた水産業により形成された久美浜湾の景観。水産業就労者を先頭に地域の方がその資産価値を再認識していきます。【提案者】 湊漁業協同組合



琴引浜の白砂青松と鳴砂

白砂青松の広い砂浜、また不思議な音を奏でる鳴き砂の浜として知られる琴引浜は、京丹後市を代表する景勝地。特筆すべき風景の魅力をさらに発信していきます。【提案者】 琴引浜の鳴り砂を守る会・京丹後市

丹後の立岩・屏風岩・丹後松島・経ヶ岬の海岸景観

丹後の誇りを地域の方が持ち、子どもたちへ継承していくためには、素晴らしい大自然の魅力を守り、磨いていくことが重要であり、今年度はライトアップや灯ろう流しなどを実施。地域資源を生かした活動の一層の促進を目指します。【提案者】 間人こころ実行委員会・京丹後市

「言葉は思いやり 言葉は優しさ 言葉は親切 言葉は暴力 どの言葉を使いますか」(人権メッセージ)

北部産業活性化拠点・京丹後の整備推進

織物・機械金属振興センター

北部産業活性化拠点・京丹後では、この春から、地元企業のための基礎技術研修をはじめ、地元企業の拠点進出による新分野事業がスタートします。



日本電産旧峰山工場を活用して整備が進む拠点

新たな漁場利用協定がスタート

京都海区漁業調整委員会(府水産事務所)

安心して楽しく遊漁できるよう、漁業者団体と遊漁船業者団体およびプレジャーボート団体による新たな漁場利用協定が2月からスタートしました。漁業と遊漁との共存を理念にトラブル防止と資源保護、環境保全を目的に、府内主要7漁場で遊漁の禁止期間や禁止時間などが定められたほか、漁場のルールは当事者自身で決める仕組みを導入するなど全国的にも画期的な内容となっています。協定の参加団体も受付中。

☎ 同事務局 ☎0772-22-4438

牧場のラベンダー畑を地元有志と協働で維持・管理

畜産技術センター碓高原牧場

碓高原牧場では「憩いの牧場」づくりの一環として、平成18年から地元の「海見えるラベンダー畑の会」と協働でラベンダー畑を作り、大切に育てています。平成19年7月には約500株が開花し、見学者の目をなごませていました。牧場では協働で作業のできる方を募集しています。

☎ 同牧場 ☎0772-76-1121

イベント情報

- 丹後海と星の見える丘公園**
- ①ゼロエミ教室 4月6日(日)午前10時～正午 500円
 - ②石窯パン焼き教室 4月13日(日)午前9時30分～正午 1,000円
 - ③豆腐づくり教室 4月20日(日)午前10時～正午 1,000円
 - ④水撃ポンプづくり体験 4月26日(土)～27日(日) 300円 宿泊代別
- ※①～③小学生以上、④小学校高学年以上。要申込(開催3日前まで)
- ☎ 同園 ☎0772-28-9111 ☎0772-28-9025
- 丹後あじわいの郷**
- ◎春休みお楽しみ抽選会&春休み遊具スタンプラリー 4月6日(日)まで
 - ◎春が来たミニ音楽祭「さくらまつり」 4月6日(日)桜もち実演販売(数量限定)
- ※ゆーらびあパスポートの有効期限が平成23年3月末まで延長されます
- ☎ 同園 ☎0772-65-4193 ☎0772-65-4194
- ふるさとミュージアム丹後(丹後郷土資料館)**
- ◎写真展「郷土の歴史家・中嶋利雄の見た丹後-石造物編-」 4月13日(日)まで
- ※料金：大人200円、小中学生50円 休館日(月)
- ☎ 同館 ☎0772-27-0230 ☎0772-27-0020

たののかぎ

答え ○○○○○○ (ヒント 初々しいですね)
(パズルの中のA～Fの文字を並べて言葉地完成させてください。)

①		②	③
			C
	④		
⑤			B
	A		
	⑥	⑦	
F			D
⑧			

よこのかぎ

- ①久美浜湾といえば〇〇の養殖(ヒント1面)
- ②解放されてのびのびと振舞うこと。〇〇を伸ばす
- ③周囲の状況から何となく感じられる様子。春の〇〇を感じる
- ④天橋立を〇〇遺産に(ヒント1面)
- ⑤貨物輸送専用の鉄道車両
- ⑥できました。常吉農村〇〇〇〇(ヒント3面)
- ⑦これ何と読みます?「羊歯」
- ⑧失敗は成功の〇〇
- ⑨〇〇〇〇ガイド養成講座を開催(ヒント2,3面)
- ⑩〇〇〇〇資産(ヒント1面)

お知らせ

野田川災害復旧助成事業・間人災害関連緊急地滑り対策事業完成

丹後土木事務所

平成16年の台風23号で被災した与謝野町加悦庁舎付近の野田川について、災害の再発防止と安全度の向上を図るため、災害復旧助成事業を進めてきました。3月には全区が完成し、治水安全度が大きく向上しました。また、平成18年7月の集中豪雨による京丹後市丹後町間人の地滑り箇所においても必要な対策を進めており、3月に工事が完成します。



丹後ふるさと夢・未来デザインフォーラム

丹後教育局

「なかなかやるもんだ 丹後!」をテーマに、丹後で働く人々と中学生、高校生が地域づくりへの思いをリレーでつなぐ「丹後ふるさと夢・未来デザインフォーラム」を11月に開催。丹後の未来を新たな視点で考えるたぐさんのメッセージを発信していただきました。

まもなくお目見え! トレイン・デザインコンペ最優秀作品車両

KTRでは丹後広域観光キャンペーン協議会とともに、「乗ってみたいくなるKTRトレイン・デザイン」コンペを実施。丹後の自然や伝説、特産品などの魅力をポイントにした楽しい列車が、まもなく発車します!ダイヤ改正でますます便利になったKTRをぜひご利用ください。

☎ 北近畿タンゴ鉄道(福知山市) ☎0773-24-2510 ☎0773-24-2503

読者の声

- ★天橋立の世界遺産登録の進み具合について、順次掲載願います。(宮津市 Hさん)
- 1面をご覧ください。
- ★時々海岸・浜を散歩します。冬の日本海は波も荒く強風にも耐えねばなりません。ゴミがたくさんで拾ってもあります。他県からの客のためにもなにか良い案がないでしょうか。(京丹後市 Iさん)
- ★生まれ育った「丹後」は百も承知と知りながら、年代には勝てず勉強になる。(伊根町 Mさん)
- ★『活動プランニュース』をみて「いろんな活動をしているんだ」といつも楽しく読んでいます。紹介された所へ行くのも楽しみです。(与謝野町 Kさん)

地域力再生生活活動を応援しています



地域力再生フォーラムを開催しました

丹後地域で意欲的に地域力再生活動をされている方々を対象に、活動を継続しながら、さらにパワーアップし、新たな展開につなげていただくこと、1月27日(日)に京丹後市峰山総合福祉センターで「地域力再生フォーラム in 丹後」を開催しました。

当日は、基調講演の後、参加団体が2グループに分かれ交流会を実施。丹後地域で活動するさまざまな団体が、意見交換を通してつながりを深めました。

なお、フォーラムの概要は丹後広域振興局ホームページ (<http://www.pref.kyoto.jp/tango/>) にも掲載しています。



「農業振興・都市交流」と「まちづくり」のテーマ別に開催した交流会。各団体から日ごろの取組が紹介されました。



安心・安全な地域まちづくり事業

<城東自衛消防隊>



「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神で、災害時の要援護者リストの整備や消火訓練など、住民一体で安心・安全なまちづくりを進めています。



城東自治会会長 大江幸夫さん

甚大な被害を及ぼした平成16年の台風の教訓を生かし、助け合う地域づくりに総力を結集し取り組んでいます。

今、地域の皆さんの力で、さまざまな活動が広がっています。

丹後地域では、今年度、45の団体が地域力再生プロジェクト支援事業交付金を受けて、自ら工夫して行動する地域力再生活動を実施しました。

京都府では、平成20年度も地域力再生活動を応援し、地域団体の輪をさらに広げていきます。



新郷土料理創作事業

<京丹後どじょうの会>



新たな観光資源の創造を目的に、遊休農地を利用してどじょう養殖池を設置運営し、どじょうを使った創作料理の研究を行い、飲食店で提供していきます。



京丹後どじょうの会会長 田中 治さん

どじょうの活用を通して、地域が元気になるよう、日々がんばっています。興味のある方は、どどんご参画ください!

地域力再生プロジェクト支援事業交付金

平成20年度 第1次募集 4月1日～5月9日
第2次募集 9月1日～9月30日

- 【対象】** 地域住民が中心となった団体の活動
- 【対象事業】** ●環境保全 ●安心・安全な地域づくり ●子育て支援 ●地域産業おこし など
- 【交付(補助)率】** 対象事業費のおおむね3分の1以内
※京都市域外の活動には、(財)京都市町村振興協会から別途3分の1以内の交付措置があります
- 【交付限度額】** ソフト事業…200万円以内
ハード事業…200万円以内
- 【申請方法】** 所定の申請書を事業を実施する地域の市町に提出してください

丹後広域振興局企画振興室 ☎0772-62-4300
☎0772-62-5894

女性の生きがい発揮事業

<KaRaよもぎの会>



地域伝統農産物を活用したそば饅頭を継承するため、人材育成を兼ねた体験教室を開催。女性の生きがいづくりを伊根町全域に広げ、活性化を図ります。



KaRaよもぎの会会長 矢木つ枝さん

会は、平均年齢68歳以上のおばちゃん構成されていますが、地域の活性化に年齢は関係ありませんよ。

丹後コミュニティFMラジオ放送プロジェクト

<FM丹後開局推進協議会>



地域に密着した情報を提供するコミュニティFMづくりに必要なセミナーや人材育成講座を開催。FMを媒体として丹後地域の住民の交流を促進します。



FM丹後開局推進協議会会長 松田幸子さん

みんなが聴いて意見を言える、参加できるラジオ局をつくらなあかんちゃ!との思いでがんばっています!

みやづの町に桜の木を植える事業

<みやづの町に桜の木を植える会>



宮津の新たな魅力づくりとして桜を植樹するとともに、桜の管理、地域の美化のための組織づくりを行い、新たな観光の展開、にぎわいの創出を目指します。



みやづの町に桜の木を植える会会長 稲葉年治さん

市民が一緒になって、植樹地の公園のせん定や清掃、土壌改良に取り組み、誇れる公園に生まれ変わりました。

丹後高齢者・はつらつ悠々事業



加悦奥区で進むマップづくり

丹後保健所では、「元気高齢者地域丹後」を目指し、高齢者などが知恵や力を発揮し、地域で支え合う仕組みづくりを推進。加悦奥区(与謝野町)では災害時にも活用できる「安心見守りマップ」の作成に取り組んでいます。みんなで支え合って元気なようにとの思いで、この取組の会に「サポートかやおく」という名前も付けました。

たんご基盤整備・環境先進プログラム

地域資源を商品化 丹後「農のある暮らし百貨店」づくり



京丹後市大宮町常吉で、村の地域資源を季節ごとに分類した「常吉農村カレンダー」が完成。米づくりや野菜づくりなどの「農業の営み」、風景や動植物などの「農村の自然」、祭りや伝統文化、食生活や遊びなど「農村の暮らし」がさまざまな書き込まれています。今後は、このカレンダーを基に、農業体験や村歩きツアーなどの商品化を目指します。

たんご交流・定住促進プログラム

丹後の自然をさらにPR

～ネイチャーガイド養成講座を開催～



丹後広域観光キャンペーン協議会では、魅力ある四季折々の景観や丹後王国をほうふつとさせる奥深い歴史や伝説などが豊富にある素晴らしい丹後を地域の皆さんに知っていただくとともに、多くの観光客に伝えるために、ネイチャー(自然環境)ガイドを養成しています。今後も引き続き講座を実施し、地域の皆さんが丹後の魅力を知り、守り、多くの方に伝えていただきたいと考えています。

たんご新観光戦略プログラム

茶園40haを育成中



兼用型機械での作業(網野町)

4年前から導入の始まった茶は年々栽培面積が増え、現在京丹後市内12カ所で合計40haの茶園が育成されています。本格的な収穫に備え、生産者の皆さんとともに茶工場建設の準備を進めています。

丹後織物ルネッサンス事業



和装グループ展示会:キモノ和洋彩展(京都文化博物館)

丹後地域のリーダー的機業を育成するため、商品開発や販路開拓に向けた取組を実施。和装の2グループは京都市および京丹後市内で、洋装の2グループは神戸および東京で展示会を開催しました。

たんご地域産業支援プログラム

地域戦略推進事業